

石井東邦銀行顧問に銀行員生活を顧みながら、 なぜ「人間学」を学ぶ必要があるのか、をお話いただきます。



地域銀行に勤務する 1 銀行員の 43 年間にわたる生活を顧みます。決して順風満帆ではないけれど、地域のために本気で駆け抜けた銀行員生活でした。

「白河」の地で社会人生活をスタートさせた石井顧問が経験したことから、なぜ「人間学」を学ぶ必要があるのかを、お話しいたします。

＜石井隆幸氏職歴＞ 1960年 9月30日 二本松市生まれ
1983年 4月 株式会社東邦銀行入行 (配属:白河支店)、2002年 3月 平支店上席副支店長兼融資課長、2005年 3月 福島卸町支店長、2007年 3月 猪苗代支店長、2009年 6月 会津一之町支店長、2011年 6月 営業統括部長、2012年 6月 白河支店長、2014年 9月 いわき営業部長、2015年 6月 取締役いわき営業部長、2016年 6月 常務取締役、2020年 6月 取締役退任、2020年 6月 取締役 (監査等委員)、2024年 6月 顧問 (現在に至る)

日 時：令和 8 年 2 月 25 日 (水) 18:30 から

会 場：白河市立図書館・地域交流室

講 師：(株)東邦銀行顧問 石 井 隆 幸 氏

演 題：「バンカーとしての回顧録～なぜ、人間学を学ぶのか？～」

参加費：500 円 (塾生 無料) 問合せ先 立教志塾 0248-23-1427

主催：公益財団法人 立教志塾

後援：白河市・同教育委員会、白河経済懇談会、白河ロータリークラブ